

# 吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28, 705 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子  
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7Esskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/山本富雄  
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3-28845



## 目次

コラム	会長・小田忠文	……	2頁
	最近の活動報告	……	2頁
	文化施設探訪 劇団ひまわり他	間瀬敏江	…… 3頁
	委員会報告 生活環境委員会	……	4～7頁
	野草観察会 キキョウは幻 生きもの委員会	……	8頁
ちよっとお耳を	実りの秋、俺達が主役です	会報委員会リポート	…… 9頁
	おしらせ 活動報告会&懇親会	学習研修委員会	…… 9頁
	おしらせ 文化施設探訪	まちなみ委員会	…… 10頁
地球温暖化防止のために	一人ができることは④	古谷啓伸	…… 11頁
	自然と文化⑤ 「秋に鳴く虫」	秋山こずえ	…… 12頁



今年巨大ハリケーンがアメリカ南部を襲った。ハリケーンが巨大化した原因の一つに地球温暖化による海水温の上昇が言われている。アメリカはまだ国連気候変動枠組み条約（京都議定書）を批准していないが、考え直していただける機会となれば不幸中の幸いだ。▲温暖化の原因はどうかやら大気中の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>：炭酸ガス）量の上昇らしい。10月に開かれた東京モーターショーでは低燃費、低公害車の主役をめぐって日本のハイブリッド車と欧州のディーゼルエンジン車が競い合っていると聞く。▲企業も頑張っているが、われわれ市民もCO<sub>2</sub>の発生を少なくすることに協力はできそうである。電気をこまめに消す、水道は細く出すとかアイドリングストップするなどの方法は環境家計簿に参加している方々には常識だろう。▲さらに普及したいものに「毎日の食事で旬<sup>しゅん</sup>の食材を選ぶ」ということがある。旬の食材はおいしくて栄養価も高く、経済的であり

ながら、ハウス栽培や養殖に要する石油エネルギーを節約することになる。▲話は大きくなるが、新エネルギー財団のホームページには「太陽から地球に届く1時間のエネルギーは全世界で使う一年分に匹敵する」と書かれている。「太陽のエネルギーはスゴイ」とあらためて思った。この太陽エネルギーを直接利用すれば「CO<sub>2</sub>発生抑制」に貢献できるはずである。▲最近マスコミで太陽光発電のCMが多くなってきた。自宅に設置することは無理だとしても、賛同する人は多いと思われる。賛同する人々が少しずつお金を出しあって大勢が集まる施設に太陽光発電装置を設置していく「市民共同発電所」という運動が盛んになってきている。▲環境会議は吹田市内の学校に太陽光発電装置を市民の力で作ろうと動き始めた。これには会員各位の賛同と協力が不可欠であり、また行政や事業者の協力も欠かせないものである。▲大勢の力で太陽の塔のある吹田市を太陽光発電のまちにすることができたらすばらしい。太陽光は四季を通じて旬なのである。

【訂正】 前回の会長コラムで「知床は②③④の基準で登録されている。」と書きましたが、「③優れた景観をもっている」は政府が申請したものの国際会議で却下されました。従って知床は「②生態学・生物学的過程を代表」「④生物の多様性の保全に重要」の二点で登録されました。

### 最近の主な活動報告（8月26日～10月25日）

- |           |          |                         |       |
|-----------|----------|-------------------------|-------|
| 9月13日     | 文化施設探訪   | キャット・劇団ひまわり・花とみどり情報センター | 16名参加 |
| 9月18日     | 野草観察会    | 北千里                     | 15名参加 |
| 10月16日    | 文化施設探訪   | 万博公園パート2                | 9名参加  |
| 10月22～23日 | 吹田市緑化フェア | 江坂公園でブース出展              |       |

垂水町 間瀬敏江

集合場所の「地下鉄江坂駅東口」を出て、そのまま「大同生命ビル」へ移動すると、緑がいっぱい！おもわず深呼吸してしまいました。

「大同生命ビル」を出ると、そこが「江坂公園」です。

この公園の広さは、2,3ヘクタール。「花とみどりの情報センター」はじめ、「市民サービスコーナー」・駐車場・駐輪場もあり、生涯学習の場として利用されています。

江坂公園の周辺は、商業・業務地区として発展していますが、「劇団ひまわり」「キャットミュージックカレッジ専門学校」があり、若者が集う活気溢れる街となっています。

#### 【花とみどりの情報センター】

館長代理の方から、「江坂公園」と、「花とみどりの情報センター」についての説明がありました。

このセンターは、一般市民に向けての、みどりの普及と啓蒙に力をいれていて、電話相談もしており、月に4回、花とみどりに関する講座を設けているとのこと。

鉢植えを上手に育てるポイントなども教えていただきました。

- ① 植え替えなどは、一回り大きい鉢に。(一気に大きな鉢は×)
- ② 毎日の水やりは×。(土の表面が乾いてから)
- ③ 水やりは、午前中に。(光合成の関係で、育ちやすい)

夕方に水やりをしている人が多かったのか、あちらこちらから「えーっ?!」との声があがっていました。

面白そうなので、次回は講座にも参加したいと思いました。

#### 【劇団ひまわり】

江坂公園の北東にある7階建てのスマートなビルが「劇団ひまわり」です。



キャット7階  
ロビーから見た  
江坂公園

入館してまず感心したことは、スタッフの姿勢の良さ・表情の豊かさ・声のはりのすばらしさです。さすが、劇団ひまわり！！

映画・テレビ・CM・舞台など芸能メディアの分野で活躍する人材を育てることはもちろんですが、まず一番は“自己表現”を学ぶ場であるとのこと。現在1000人弱の方が学んでいるそうです。

今回レッスン風景を見ることはできませんでしたが、2階の劇場「シアタープラッツ江坂」を見学しました。150人もの観客が入ると聞き、驚きです。機会があれば、生の演劇を観たいものだと思いました。

#### 【キャットミュージックカレッジ専門学校】

江坂公園の東側に建っている、ガラス窓の美しい建物が「キャットミュージックカレッジ専門学校」です。ここは、“音楽のプロフェッショナル”を育成する機関で、実技・実践重視の専門学校。

“今日から前期テストのはじまり”とのことで、真剣な顔つきの学生さんを横目に、キャットホールやレコーディングスタジオなどを見学しました。

中でも印象に残ったのは、音響や照明のプロになろうと学ぶ、学生さん達の一心不乱な姿でした。特に音響などは、繊細な感性を要求されるようですが、それ以上に力仕事でもあるらしく、中年の私にはそんな若者たちがまぶしかったです。

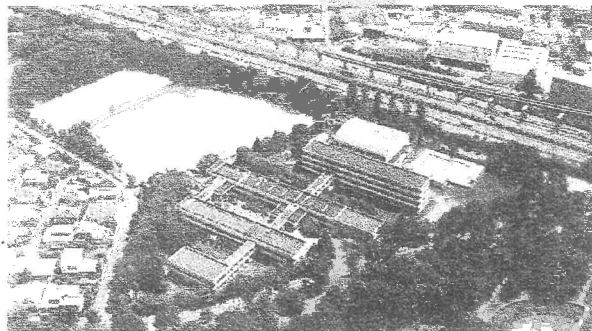
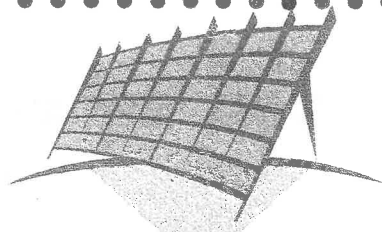
見学が終わり、帰りのエレベーターの中で、「ミュージシャンになるには、やはり才能がないとだめでしょうねー。」との質問が参加者からあり、案内の方から、「才能はもちろん必要ですが、あきらめずずっと続けてやることが大切。続けていると必ず、ものになります。」と、お聞きしました。私もチェロを習っていますが、時々やめようかと思悩むことがあるので、なんだか嬉しくなり、これからも続けていこうと思った次第です。

また、「劇団ひまわり」と「キャットミュージックカレッジ専門学校」の建物の中から、江坂公園を見おろすことができましたが、上から見る江坂公園の美しさは、また格別でした。

今回、普段入れないようなところを見学し、あらためて江坂を見直すことができました。

# 古江台中学校に 市民の力で

# 「太陽光発電所」を つくろう！



吹田市立古江台中学校全景

●私たちは

地球温暖化防止のために、  
次世代に環境問題を押し付けないために、  
「吹田をソーラータウンに！」と願ってきました。

私たちが日々便利に使っている電気は、火力発電によりCO<sub>2</sub>を排出しています。  
また、原子力発電による放射能を含む廃棄物問題は未だに解決されていません。

次の世代にこのような問題を押し付けないために、私たちは日々の生活で省エネルギーに努めることはもちろんですが、さらに、太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーを利用していくことが必要です。そこで、多くの市民が無理なく参加できるしくみ「市民共同発電」に着目し、昨年末、あった会（市民共同発電所設立準備会）をつくりました。

そしていま、第1号の市民による「太陽光発電所」を吹田市立古江台中学校に設置することにし、「古江台中学校市民共同発電所実行委員会」（通称「古中ソーラー実行委員会」）を立ち上げました。大阪府から補助金をいただくことにもなり、今年度中に設置することになりました。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

●吹田市立古江台中学校に設置します

古江台中学校は、いのちの大切さを学ぶとともに、持続可能な循環型社会の未来を主体的に担う子どもたちを育てるために、環境学習に熱心に取り組んでいます。

いま、その環境学習の一環として、子どもや保護者、そして地域の人びとが関わりながら学校ビオトープを作っているところです。

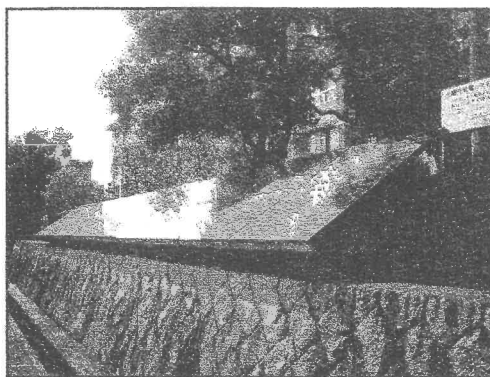
このビオトープには水循環のためのポンプが必要です。その電力として自然エネルギー（太陽光発電）を利用することは、子どもたちの目に見える学習材料になります。

さらに、ビオトープだけでなく、学校で使用する電気の一部にも太陽光発電を利用することで、日常の学習の中でも自然エネルギーを実感できます。

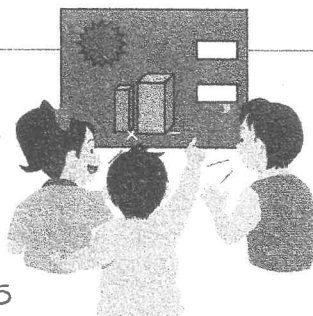
そこで、古江台中学校に2kWの「太陽光発電システム」を市民が力を合わせて設置することにしたのです。

これは吹田市では最初の試みです。

参考：府立芥川高校の太陽光システム



太陽が電気を作っているんだね！



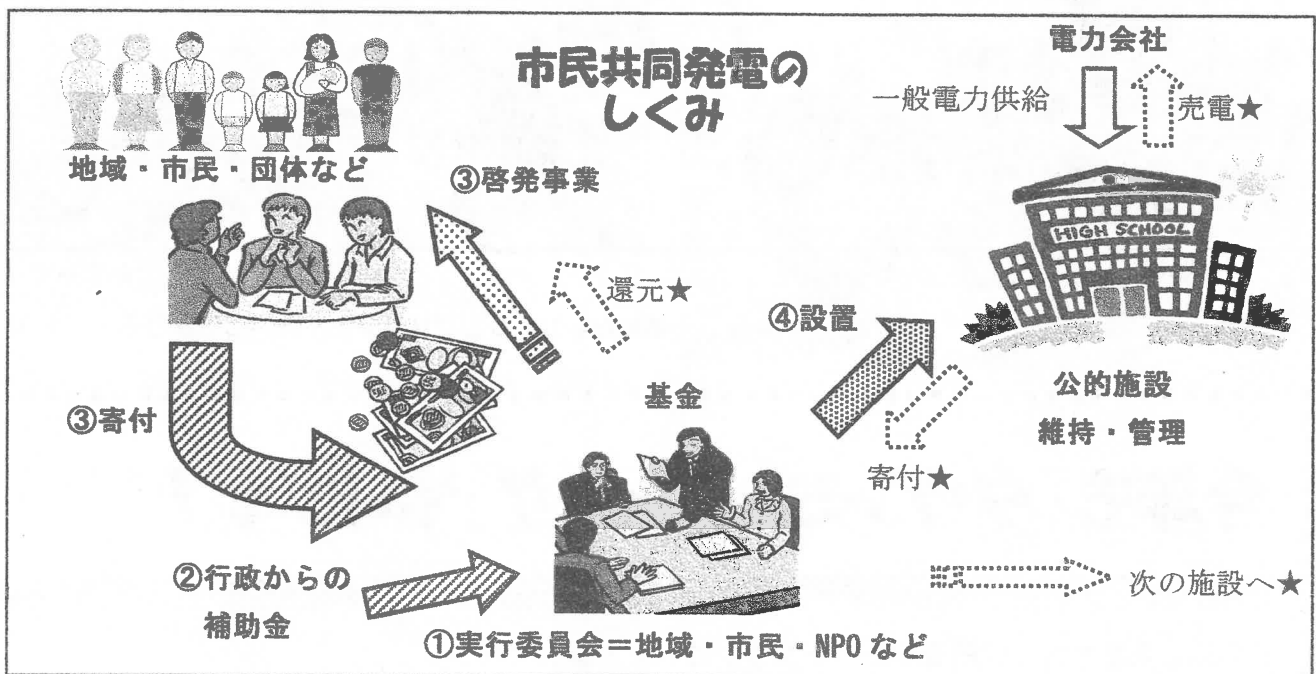
表示パネルを見る子どもたち

## ●太陽光発電システムの効果

- ①省エネルギー効果があります。(太陽光発電システム1kWあたり、年間約1000kWの電力を発電します。)
  - ★古江台中には2kWシステム設置の予定です。
- ②CO<sub>2</sub>排出量、石油消費量の削減効果があります。
  - (1kWのシステムにより、CO<sub>2</sub>の排出量を年間180kg-c、石油の消費量を2430削減できます。)
- ③発電も電気の売り買いも自動的に行われ、機器のメンテナンスがほとんど必要ありません。
  - ★今回提案のシステムでは発電量が小さく、売電が発生しません。
- ④参加者に金銭的利益をもたらすものではありませんが、地球温暖化対策や環境教育だけでなく、地域活動を活発にして、子どもたちを安全に育むまちをつくる取り組みなのです。

## ●設置までの流れ (下図参照)

- ①10月14日 学校・PTA・地域協議会・商店会・市民・NPOなどが集まって「古江台中学校市民共同発電所実行委員会」(長いので「古中ソーラー実行委員会」と呼びます)をつくりました。
- ②大阪府へ補助金申請をしたところ、事業が認められ、50万円の補助がつくことになりました。
- ③活動への理解を得るためと、設立資金を得るために啓発事業などを行い、寄付を募ります。
  - ★システム全体の設立費用は200万円をいどで、150万円のカンパが必要です。
  - これからカンパ活動を始めます。近々、振り込み用紙とともにカンパのお願いをする予定です。
  - どうぞ、ご協力お願いいたします。
- ④古江台中学校に太陽光システムを設置します。
  - ★一般的には、公的施設がシステム導入メリットと売電により、実行委員会(基金)に寄付をし、それを元に市民への還元や次の活動につなげていきます。
  - しかし今回は売電がなく、設置施設が吹田市立の学校のため、基金への寄付はありません。



スタッフ募集!

- 11/6 (日) 千里南公園  
「生協まつり」
- 11/12 (土) 万博公園  
「大阪府環境フェスタ」
- 11/13 (日) 古江台中学校  
「ネットコムフェスタ」

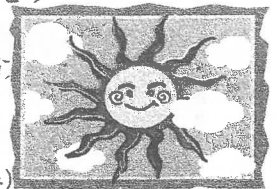
開催時間 (10:00~16:00)  
のうち1時間でも!

## 「おひさま広場」開催しています!

～スタッフになってください～

- ①子どもたちとソーラーおもちゃであそびながら、おひさまのチカラを実感します。
- ②おひさまの絵を描いたり、「くらしのチェックシート」に挑戦してもらったり、テルテル坊主を作ったり・・・
- ③市民共同発電のパネル展示をします。
- ④「古江中に市民共同発電を!」と呼びかけます。
- ⑤手作りリユース作品などを販売します。

問合せ: 喜田06-6330-0305 (夜間のみ)



## エコ・エコ・クッキング



地球温暖化・  
ぼくは何ができるかなあ

夏休みも終わりに近づいた8月24日、亥の子谷コミュニティセンター調理室で、またまた「エコ・エコ・クッキング」を実施しました。テーマはもちろん「地球温暖化防止のためにできること」。今回はジャスコ南千里店との協働。ジャスコの「イオン チアーズクラブ」企画として実施しました。

スタッフは、紅茶豚(煮豚)を初めてメニューに取り入れるということで、シミュレーションを実施して準備しました。

参加者は午前16人、午後17人。小学1年生から中学2年生までの子どもたちと大人たちです。楽しく、にぎやかで、おいしい企画となりました。

●温暖化の話+チェックリスト

●私たちにできること

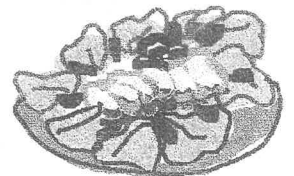
●調理メニュー

紅茶豚(煮豚)の夏野菜添え

じゃご飯

スープ

黒糖プリン



▲家でもまた、やってみま〜す!

◀私たちの作ったプリンやで! おいしそうやろ!

## 今年も「タウンミーティング」やります!

昨年末、私たちは「吹田をソーラータウンに!」と題して自然エネルギー利用のまちを創ろうと呼びかけました。

ことし、古江台中学校に

市民共同で太陽光発電を設置しようと活動が始まっています。

私たちは、ささやかでも、一歩前進したのです。

子どもたちへ、未来への贈り物として、

具体的にアクションを起こすこと。

その思いと意味、その先に見えるものについて、

あなたと、語りあいたい。

**12月2日(金)**

19:00~21:30

**メシアター集会室**

参加費 無料

ほら、豚肉をそつとお鍋に入れて：



じょうずに作れたよ



おいしかった！

## スタッフ感想

吹田は台風 11 号の影響もなく、当日を迎えました。

シミュレーションに沿って準備しましたが、思ったより時間がかかってしまいました。

午前・午後 2 回の講座でしたが、参加者の年齢でずいぶん雰囲気がちがった様に思えました。

料理内容は、ほとんどごみが出ないものでしたし、ボリューム感もあり、デザートもありで参加者には満足いただけたかと思えます。

パネル等を利用した地球温暖化のお話の内容は、参加者にどれぐらいアピールできたのか、参加者の声を聞いてみたいです。私自身は、水道の水の出し方（えんぴつ程度の太さで出す）や、水の出し方を変えて（蛇口全開か鉛筆の太さか）で水の量を計ってみるなどが、分かりやすくよかったと思えました。小さい子ども向けには簡潔で分かりやすい説明と簡単な質問があれば、飽きずに耳を傾けてくれると思えました。

小学校低学年でも結構しっかり料理ができますし、4年生ぐらいになるとおとなとほぼ変わらないぐらい上手に料理するには驚かされました。

子どもたちと一緒に料理をする経験ができ、楽しい一日でした。（奥田倫子）

### アンケート結果

- 企画は楽しかった？ はい 27 まあまあ 4 いいえ 0
- 料理を作ってみたい？ はい 27 まあまあ 3 いいえ 0
- 今後やってみたいこと気づいたことは？

「保温調理をやってみます」「デザイン重視よりリサイクル品を買います」「省エネ・リサイクル。無駄な物は買わない、もらわない」「冷蔵庫を開ける回数を減らします」などのコメントがありました。

# 吹田をローラータウンに！ 2005

プログラム

## 第1部 「自然エネルギー導入の可能性と未来」

コーディネーター：久 隆之さん（近畿大学 理工学部教授）

パネリスト：阪口善雄さん（吹田市長）

横内 環さん（吹田市立古江台中学校校長）

山本光平さん（DIOS 北千里商店会会長）

喜田久美子（NPO 法人すいた市民環境会議理事）

## 第2部 フリー トークング

みなさんと「市民共同発電」について話そう

## 第3部 大阪府の温暖化防止施策について 柳原和浩さん（大阪府地球環境課総括主査）

主催：大阪府地球温暖化防止  
活動推進センター

共催：NPO 法人大阪府民環境会議  
NPO 法人すいた市民環境会議

後援：大阪府・吹田市（予定）

# キキョウは幻、ツリガネニンジンは？

9/18 開催『北千里苗圃の野草観察会』結果

生きもの委員会 平 軍二

## ①幻の花キキョウ

野草マップ「吹田版の七草」において調査種とした37種の中で、最も少なかったのはキキョウ（「あさがお」と称される秋の七草）で、確認されたのは2ヶ所であった。



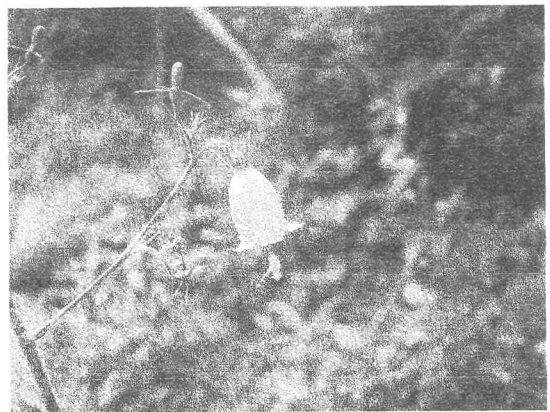
うち1ヶ所は北千里駅からすぐ近くで、今年8月上旬に頂上花、8月末にはその下に側花も咲き、下見した9/14にも枯れた花が残っていたため、花の咲く場所を知ってもらおうと観察コースに入れたが、しかし観察会の日に痕跡すらもなく、幻の花となっていた。

このキキョウの存在に気づいて丸4年、(写真は昨04/8/13撮影)今年も美しい花を咲かせてくれたことに感謝すると共に、来年も鮮やかな紫色の花を期待したい。

## ②絶滅危惧種ツリガネニンジン

ツリガネニンジン(健在)はキキョウより多いものの6ヶ所しか確認できなかった。吹田市の絶滅危惧種の一つである。千里北公園の苗圃(びょうほ)は一般の人が自由に入れられないこともあって、割合多くツリガネニンジンが残っている。

苗圃(びょうほ)以外のツリガネニンジン生息地は、市内に残された田畑の周囲であるため、そこが住宅地などに改変されると絶滅する恐れがある。その意味で苗圃内のツリガネニンジン(健在)は貴重であり、吹田市の野草の砦として、いつまでも残したい生息地である。



(写真は観察日05/9/18に撮影)

## 次回05年第3回植物観察会のご案内

### 古木・大木と街路樹

(せせらぎの道～関大)

日時： 12月18日(日) 午前9時～午後12時

集合： 亥の子谷公園(桃山台駅前・南千里駅前より JR 岸辺駅・JR 吹田駅方面行きの阪急バスに乗車。亥の子谷バス停下車すぐ)

参加費： 300円(保険代を含む)

内容： すいた市民環境会議が1997年に実施した古木・大木調査と2001年に実施した街路樹調査で確認した樹木について、下記3ポイントを中心に観察する。

- ① 紫金山公園(五月が丘側)のアベマキ
- ② せせらぎの道の街路樹(50種ほど)
- ③ 関西大学の吹田市一番の大木クスノキ <問合せ先 平(ヒラ)軍二 Tel.06-6877-0648>



## \*委員会活動発表会&懇親会\*の開催

学習研修委員会では、今年度の取り組みとして、すいた市民環境会議の5つの委員会(学習、研修・生きもの・まちなみ・生活環境・会報)での活動実績や活動理念を、一般会員、友好団体関係者、一般市民の方々に提示し、すいた市民環境会議の活動の全容を理解してもらい、活動に参加を促すために、「委員会活動発表会&懇親会」を開催します。

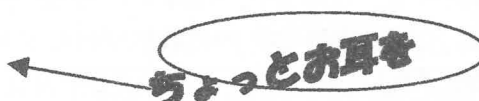
すいた市民環境会議って、普段はどんな活動をしているの?という疑問に答えるためにも、パワーポイントなどを使用して、わかりやすい形で参加の皆さんに提示する予定です。

どなたでも参加できますし、日頃思っていることを言っただけの機会ですので、気軽にご参加下さい。

- 【名称】 すいた市民環境会議・委員会活動発表会&懇親会  
【日時】 2005年12月17日(土) 13:30~16:00  
【場所】 吹田市民会館 会議室  
【参加費】 200円(茶菓子・資料代)  
【対象と規模】 すいた市民環境会議会員・友好団体関係者・一般市民・30~40人  
【内容】

1. 各位委員会より活動理念と活動紹介(各10分×5=50分)  
→パワーポイントなどを利用し、わかりやすく説明。現状の問題点なども報告。
2. 各位委員会代表によるパネルディスカッション(30分)  
→全員参加型フリップ式パネルディスカッションにし、フロアからも参加してもらおう。
3. 参加者との交流会・懇親会(60分)  
→茶菓子を用意し、自己紹介などをして、参加者同士の交流もはかり、参加者の意見もいただく。

## 実りの秋 俺たちが主役です

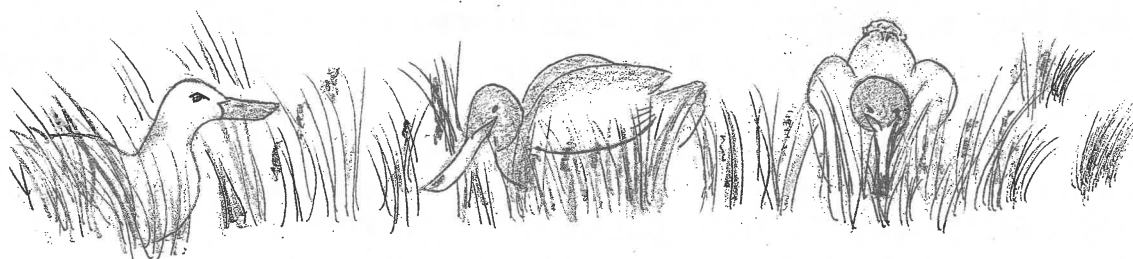


5月の岸部地区の文化施設探訪のとき、寄り道をしてアイガモ農法のカモを見ました。七尾瓦窯跡の裏にある1000平方メートルくらいの水田です。

田植えが終わると、わずか3羽のメスが昼夜、稲株の間をちゃぶちゃぶと歩くように泳ぎ回って、盛んに頭を水の中につこんでいました。農夫の話では、稲が大きくなるとカモがどこにいるのか見えませんが、朝6時頃に野菜を蓮池のほとりで与えるので、カモを見ることができます。雑草ばかりでは痩せて、体重が軽いと飛んで他所へ行ってしまうので、栄養のある野菜を与えます。

8月、ヒエのような雑草は見当たりませんでしたが、コナギがパラッと目に止まりました。コナギは嫌いなのでしょうか。9月になると田圃は水を落とし、実りの秋を信じながらカモ達は蓮池でシーズン・オフを過ごします。

市内の水田がすっかり減りました。農協の話では市内で3、4軒がアイガモ農法をしているそうです。  
(会報委員会レポート)



## いいでしょこのまち 文化都市吹田「文化施設探訪」

吹田市の特徴の一つは大阪大学、関西大学、大阪学院大学、金蘭千里大学などの大学が集積している大学のあるまちです。これらの大学は、大阪市内からも近く緑豊かで環境に恵まれた吹田市内へ、広いキャンパスと新たな飛躍を求めて大阪市内から移転してきました。

11月、12月には大阪大学吹田キャンパス、関西大学千里山キャンパスを訪問し、大学の施設を見学させていただくとともに、大学が現在目指しているところをお聞きし、また学生生活の一端にふれてみたいと計画しました。

### (第7回) 大阪大学吹田キャンパス

日時：平成17年11月22日(火) 9:40~14:30 (雨天決行)

集合：大阪大学吹田キャンパス本部前(阪急バス・近鉄バス停前)

解散：同 レストラン「ラ・シェーナ」

参加費：会員300円 非会員400円(別途昼食代1155円)

申込み：先着25名(11月18日(金)までに 大越 TEL06-6382-7769 FAX06-6382-8697へ)

見学コース：阪大本部前→银杏会館・医学資料室→キャンパス内施設見学→地球総合工学科建築工学コースの研究室見学→レストラン「ラ・シェーナ」で昼食→解散

ご案内：千里市民フォーラムにも係わっておられる鈴木毅先生(建築・都市デザイン学 助教授)に施設のご案内と大学の説明をお願いしています。

#### <大阪大学の概要>

1931(昭和6)年に医・理の2学部で6番目の帝国大学として創設。1933年に大阪工業大学を吸収し工学部が設置され、1949(昭和24)年の学制改革で文・法学部が加わり新制大阪大学としてスタートしました。その後も学部を増設、先端的な研究機関を整備し現在にいたっています。

その学問的系譜は、江戸時代の1724(享保9)年設立の懐徳堂、1838(天保9)年設立の適塾、1869(明治2)年の文部省直轄病院、1880年の府立大阪医学校などを受け継いでいます。

吹田市へは1967(昭和42)年に移転がはじまり、1993年附属病院の移転で完了しました。「地域に生き 世界に伸びる」をモットーに大学院を重点化し、先端研究のトップを走る大学を目指しています。

レストラン「ラ・シェーナ」：工学研究科GSEコモンイースト棟15階にあり、4方の眺望が優れた阪急ホテル直営レストランです。

### (第8回) 関西大学千里山キャンパス

日時：平成17年12月13日(火) 9:30~12:00 (雨天決行)

集合：関西大学吹田キャンパス正門前

参加費：会員300円 非会員400円

申込み：先着25名(12月9日(金)までに 大越 TEL06-6382-7769 FAX06-6382-8697へ)

見学順序：正門→新大学会館南棟歴史展示室→総合図書館→学舎・実験棟→100周年記念館→(解散、希望者は学内の食堂で昼食)

案内：大学の社会連携推進本部のスタッフに案内と説明をお願いしています。

#### <関西大学の概要>

1986(明治19)年、関西法律学校として開校。千里山住宅開発と同じ時期の1922(大正11)年に千里山に学舎を建設、法・商の2学部を持つ大学に昇格。関西六大学の一つとして発展し、現在は8学部を持つ総合大学です。

大学のモットーは、大学発展に大きく貢献した学長兼総理事山岡順太郎(大阪商工会議所会頭で、千里山住宅開発も手がけた)の唱えた「学の実化(じつげ)」「開かれた大学」として地域社会への貢献にも努めています。来年は開校120周年を迎える関西では最も伝統のある私学の一つです。

以上

## 市民も京都メカニズムでCO<sub>2</sub>削減

岸部北 古谷 啓伸

会員の小松孝子さんから「以前から省エネとゴミ減量に気をつけており、今夏初めて大阪府の『環境家計簿』半年コースに参加しました。電気、ガス、水道などの検針書から使用量を表に転記するだけで削減の程度と二酸化炭素排出量がわかり、こんな方法があったのかと目からうろこが落ちる思いでした。」との感想をいただいた。

最終回は「京都メカニズム」の考え方に便乗して、市民も太陽光発電施設をつくったり、植林したりすることで、家庭から排出する二酸化炭素と相殺にしようとするものである。

### (1)太陽光発電を自宅に設置

住宅に太陽光発電設備を設置する費用は、現在1kW当たり67万円である。標準仕様の4kWを設置すると268万円かかり、寿命は20年である。この設備で月当たりの発電量は350kWhで、削減できる二酸化炭素は126kgである(別掲計算式A)。

### (2)市民発電所設置への寄付

市民の寄付金で公的施設に太陽光発電装置を設置する運動があり、これを市民発電所と呼んでいる。1,000円寄付した時に削減できる月当たりの二酸化炭素は47gである。(計算式B)

すいた市民環境会議も市民発電所キャンペーンを始めたところである。

### (3)関西電力のグリーン電力基金

関西電力の自然エネルギーの利用に賛同し、毎月1口100円単位で寄付している人には、同社の検針票の内訳に「グリーン電力基金」という項目と金額が印字されている。寄付金と同額を関西電力が加算するので倍額を寄付したことになる。ここから事務費用と学校などへの環境教育助成を差し引いた残りを、公的施設の太陽光発電と風力発電の設置助成金として、毎年6月頃に配分している。2004年度の実績では1,000円(実質2,000円)の寄付で削減できる月当たりの二酸化炭素は265gである。(計算式C)

### (4)企業の植林に協賛

たとえば、コスモ石油はガソリンスタンドでカード「エコ」を販売している。このカードの年会費500円は海外での森林事業に使われる。同社は500円分の植林で(何十年も何百年もかけて)二酸化炭素1トンの吸収を見込んでいる。ちなみに二酸化炭素1トンとは、ガソリン435リットルを消費した時の排出量に相当する。

木は、いずれは枯れたり伐採されたりして、その時には二酸化炭素も発生する。京都議定書の判定では、その時点で発生と削減の数値は相殺され二酸化炭素削減効果はなしとされる。

そのためか現在は植林のための出資者が少なく、また植林や木の管理等の手間賃も安く、担い手が少ないという問題もある。しかし、京都議定書の目標達成判定は2008～2012年の平均排出量からなされるので近々、植林のニーズが高まり植林費用は高騰すると予測されている。

蛇足だが、1本のスギ・ヒノキは1年当たりに2.6kgの二酸化炭素を吸収する。(林野庁資料)

&lt;終&gt;

\*\*\*\* 計算のあらすじ \*\*\*\*

#### 【計算式A】

月間発電電力量：

$$350\text{kWh} = 4\text{kW} \times 730\text{時間} \times 12\% (\text{稼働率})$$

月間CO<sub>2</sub>排出削減量：

$$126\text{kg} = 350\text{kWh} \times 0.36 (\text{係数 } 0.36 \text{ は前回に説明})$$

#### 【計算式B】

月間CO<sub>2</sub>排出削減量：

$$47\text{g} = 126\text{kg} \times (1,000\text{円} \div 268\text{万円})$$

#### 【計算式C】

2004年度決算報告書から計算すると

寄付口数：

$$133,863\text{口} = \text{寄付収入額 } 26,772,529\text{円} \div 200\text{円}$$

10口1,000円当たりの太陽光発電助成額：

$$775\text{円} = \text{助成総額 } 10,374,500\text{円} \div 133,863 \times 10\text{口}$$

太陽光発電による月間CO<sub>2</sub>排出削減量：

$$36\text{g} = 126\text{kg} \times (775\text{円} \div 268\text{万円})$$

風力発電1kWの月当たり発電量：

$$146\text{kWh} = 1\text{kW} \times 730\text{時間} \times 20\% (\text{稼働率})$$

10口1,000円当たりの風力発電助成額：

$$1,046\text{円} = \text{助成総額 } 14,000,000\text{円} \div 133,863 \times 10\text{口}$$

この場合の月当たり発電量：

$$0.636\text{kWh} = 146\text{kWh} \times (1,046\text{円} \div 1\text{kW} \text{ 当たりの設置費 } 24\text{万円})$$

風力発電による月間CO<sub>2</sub>排出削減量：

$$229\text{g} = 0.636\text{kWh} \times 0.36$$

太陽光発電と風力発電を合わせた月間CO<sub>2</sub>排出削減量：

$$265\text{g} = 36\text{g} + 229\text{g}$$

## 秋に鳴く虫

秋山 こずえ

この原稿を書いている側で虫の声が聞こえています。子供の頃は、虫は庭の草むらや縁の下、台所の上がり<sup>かまち</sup> 框周辺など身近な場所で秋の夜長を歌っていたものです。毎日忙しく暮らしている現在、虫の声も耳に入ってこなくなっていますか。少しの草地があれば虫たちのオーケストラが開かれています。最近ではオーケストラというより個人演奏会のようなのですが・・・。

鳴く虫については「古今著聞集（1254年）」に「当時、その美しい音をわがものにすべく競って虫狩りに出かけた」と書き残されています。戦国時代、戦いに明け暮れた武将ですらスズムシを飼っていたとの話も伝えられています。江戸時代には「虫売り」の職業があったそうです。最初のころは虫を採って来て売っていたそうですが、欲しいという人が増え、<sup>ぶしただくら</sup> 武士忠蔵が手持ちのスズムシの飼育に成功して、スズムシ、クツワムシ、カンタンなどの生産販売を始めたそうです。この流れをくむ「虫売り」が昭和に入っても続いていました。私が小さい頃、この「虫売り」が来ると後をつけて歩いた覚えがすかにかにあります。今は姿を消してしまったようです。

ラフカディオ・ハーンは、日本人が鳴く虫を買い求めてまでその音を楽しむ行為を「驚き」と書き残しています。欧米人には一種のノイズと聞こえるこの音色を、日本人は「リーンリーン」「チンチロリン」など言葉に置き換え、美しい音色として楽しんでいました。

私達の祖先は、日々の暮らしの中で、花や虫に親しみ、心の安らぎを得ていたのでしょう。少し虫に関心を持って気に止めてみませんか。



### \*お詫びと訂正\*

前号（41号）P3に下記のような間違いがありました。深くお詫びし、訂正いたします。

- ① タイトル部分 [第4回 日本庭園と国立民俗学博物館] となっております  
正しくは [第4回 日本庭園と国立民族学博物館] です。
- ② 文中左側最下段 [ボランティアの方に案内され] から右側最上段 [西の上流から・・・] と続いています。  
正しくは、 [ボランティアの方に案内していただきました。「日本庭園」は東西に細長い庭園が水の流れに沿って4つのゾーンに分けられています。西の上流から・・・] です。

### 《編集後記》

名古屋万博は2200万人あまりの入場者があり、大成功に終わった。  
自然と人間の共存という点では多くのメッセージを発信したと思う。  
たまたま、テレビをヒネッたら「人間の社会では動物や虫・植物から教えてもらうことが多いよね。例えば、蛍の光が液晶を創り出したようにね。」…と。  
これからもそうであるように、もっと虫や動物・植物を知って仲良くしないと……  
いけないのでは？

(編集長)